

八峰コミスク通信

令和3年度
第13号
R4/1/24
CSデイルター
工 藤

Dのあっちこっち見聞録

●小・中学生の地区奉仕活動

12月24日(金)終業式の午後、小学校の高学年生と八峰中学校の生徒が、「地域貢献」を目的として、各地区で奉仕活動を行いました。除雪作業を予定していましたが、雪が少なかったため、集落の施設の掃除が多かったようです。子どもたちと保護者と地域の大人たちが協力しながら、奉仕活動等に取り組んでいました。

3カ所を取材しました。沢目神社では松の枯れ枝集めを、蝦夷倉集会所は広場の除雪作業を、浜田地区コミュニティセンターでは室内掃除を頑張っていました。地域の大人たちは、久々に地区の子どもたちの様子を観ることができて嬉しそうでした。

●先生たちのICT研修会

冬休み期間中、町内の小・中学校の教職員やICT支援員を対象に、NTTグループ主催の『ICT活用研修会』が開催されました。

12月27日午後は八峰中学校の教職員の研修。オンラインで「情報モラルの指導」「操作や活



用例の紹介」等を学びました。ふだん強面の先生方も、リラクセスして和気あいあいと研修を受けていました。
大人も、子どもも、日々勉強ですね。

●小6中1宿泊交流会

小学6年生が、中学1年生になったときに、勉強や生活環境の変化にスムーズに順応していけるようにと、1泊2日で行われている交流会です。

1月6日(木)午後、あきた白神体験センターに、交流希望の小学校6年生と中学1年生の55名が集まりました。開会式のあとのグループワークやユニカールで、参加者の緊張をほぐし、交流を深めました。夜のナイトハイクでは、暗く白い雪道を黙々と歩き、参加者同士のつながりごと一体感を高めたようでした。

ナイトハイクで体が冷えた後のハタハタ館の温泉は最高！。そして、就寝まで友だちとのおしゃべり…。就寝時間は守られたかな???

7日午前は、秋田大学の佐々木先生による思春期講演会。大雪のため2時間遅れの講演になりましたが、思春期にある子どもたちにとっては、身近で切実な内容だったので、眠たいはずの子どもたちは講演に聞き入っていました。

これで4月からの新・中学1年生の不安もいくらか解消になったはず。どうか楽しい中学校生活のスタートを。



コロナ禍により

1月21日(金) コミュニティ・スクールフォーラム

『大人が支える！インターネットセーフティ』は中止！残念。

インターネットを利用する子どもたちの課題等を把握し、われわれ大人ができることを考えるためのフォーラムでしたが、コロナ禍の状況を踏まえて中止としました。講師の櫻庭直氏(北教育事務所山本出張所 社会教育主事)から事前に資料をいただきましたので、一部をご紹介します。



★インターネットは便利で、これからも発展していくツール(道具)です。地方で生活していても都会と同じように仕事をすることも可能です。ただし、インターネット社会がまだ成熟していないので、さまざまなネットトラブルが発生しています。特に、子どもは知識不足、自制心の弱さ、経験不足等があるため、保護者や周囲の大人が見守る必要があります。

- 保護者へ3つのお願い →①使い方のお手本となってください。②ルールや約束は機種等の使用前に決めてください。③子どもと一緒にネットのことを学んでください。
- 全ての大人にできること →子どもが悩んだときの最初の相談相手に。「最後まであなたの味方だよ」と説教・取り上げ・指導等よりも「聞き上手」になってください。